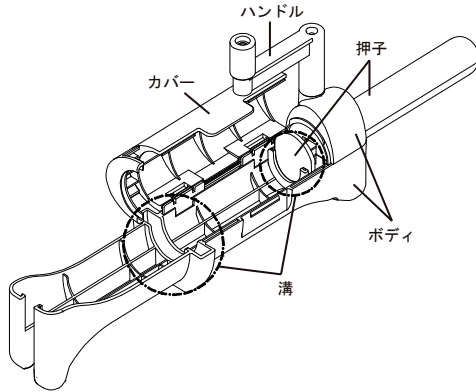


## PEGソリッド

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状・構造



#### 2. 原理

ボディと押し子により注射筒を保持する。手動のハンドル回転操作（反時計回り）により、注射筒内へ栄養剤等を吸引する。また、手動のハンドル回転操作（時計回り）により押し子を推進し、注射筒内の内容物を加圧して押し出す。

### 【使用目的又は効果】

経腸栄養剤や食品を充填したシリンジのプランジヤに圧を加えることによって、栄養剤等の投与をアシストするシリンジポンプである。圧力は、手動で発生させる。

### 【使用方法等】

#### 1. 吸引方法

1) 注射筒の押し子が完全に押し込まれた状態であることを確認します。カバーを開け、ハンドルで本品の押し子の位置を調節し、注射筒を2つの溝にはめるようにセットします。

\*2) カバーを閉め、注射筒の先端を栄養剤等に浸します。

3) ボディ及びカバーを把持し、ハンドルを反時計回りに回転させ吸引します。

#### 2. 注入方法

1) 患者を半座位とし、胃瘻カテーテルを開放し胃内の排ガスを促します。

\*2) 栄養剤等が充填された注射筒を胃瘻カテーテルに接続します。

\*3) カバーを開けます。ハンドルで押し子の位置を調節して、注射筒を本品の2つの溝にはめるようにセットします。

4) カバーを閉めます。ボディ及びカバーを把持し、ハンドルを時計回りに回転させ注入します。

#### 3. 組み合わせて使用する医療機器

本品は以下の医療機器（専用品）と組み合わせて使用します。

1) 販売名：ニプロカテーテル用シリンジ

届出番号：27B1X00045000083

\*2) 販売名：ニプロENシリンジ

届出番号：27B1X00045000146

3) 販売名：ニプロ経腸栄養用エクステンションチューブ

届出番号：27B1X00045000044

### <使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 専用の注射筒を組み合わせて使用してください。〔専用品以外の注射筒を本品にセットすることはできません。〕

\*2. 注射筒及び胃瘻カテーテル内が高圧となると、その接続部が外れるおそれがあります。

3. 使用する栄養剤等については、粘度及び流出量に注意して使用してください。〔本品が破損する、又は栄養剤が過度に流出するおそれがあります。〕

4. 注射筒をセットする際、本品の2つの溝に確実にハマっていることを確認してください。〔栄養剤等が正しく吸引又は注入されないおそれがあります。〕

5. 胃瘻カテーテルを開放した際、先に投与した栄養剤等の胃内残留を大量に認めたときは、本品を使用しないでください。〔胃内容物の排出機能に障害が起きています。〕

6. 栄養剤等の注入時は、ハンドルを時計回り（ハンドルの矢印方向）に操作してください。〔逆回転すると胃内容物がカテーテルより吸引されるおそれがあります。〕

7. 吸引又は注入時は、ボディを下から支えるように本品を把持し、注射筒の外筒を握らないでください。〔外筒が変形し、液漏れが発生するおそれがあります。〕

8. 径の細い胃瘻カテーテル（20Fr未満のもの）や径の細いボタン式胃瘻の接続チューブに使用する場合は、又は高粘度の栄養剤等を注入する場合は、注入速度に十分注意してください。〔栄養剤等を押し出す際に過度な負荷がかかり接続部が外れるおそれがあります。〕

### 【使用上の注意】

#### 1. 重要な基本的注意

1) 本品は非滅菌品であるため、清浄領域では使用しないこと。

2) 本品を落下させないよう注意すること。〔本品の破損又は接続部の外れによる液漏れが発生するおそれがある。〕

3) 急激な温度変化を生じさせる使用はしないこと。〔推力リミット機能の設定値が低下しハンドルが空回りするおそれがある。〕

4) 本品を水洗いしないこと。

5) 本品を薬品や消毒液で清掃しないこと。〔本品の劣化や破損が発生するおそれがある。〕

6) 汚染部は水を含ませ絞ったタオル等で適宜拭き取ること。〔汚染により、カバー及び押し子の可動部に不具合が発生するおそれがある。〕

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 1. 保管方法

1) 水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2) 振動、塵埃等の多い場所に保管しないこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

日光精器株式会社